

授業科目	*初年次セミナー I				単位	1		
履修	必修	関連資格				ナンバリング	NU10 201J	
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	目野 郁子、高橋 甲枝、中原 智美、隅田 由加里、木村 政伸							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場である。基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。本科目は、初年次セミナー I（前期）および II（後期）で構成されており、大学での学びの質を高めるために必要なスタディ・スキルズを身につけることを目的とする。</p> <p>初年次セミナー I では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、本の読み方、問いの立て方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索の方法、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶための技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1)</li> <li>2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1)</li> <li>3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるができる。(DP3-1)</li> <li>4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。(DP3-1)</li> <li>5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。(DP4-1)</li> <li>6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表 (口頭、 プレゼン テーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	0	40	0	15	0	55	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0	0	0	0	0	20	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	0	0	10	0	15	0	25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、自ら積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、他者と協働して学ぶ姿勢がみられる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	講義①: 大学での学びとは (木村) ・大学で学ぶとは ・そのためのスタディ・スキルズとは	講義	・復習: 該当部分の復習をする	30
2	講義②: オリエンテーション (目野) ・初年次セミナーについて(目野) ・ポートフォリオについて: 準備と活用方法(中原)	オリエンテーション 講義	・復習: 該当部分の復習をする ・該当する自己評価シートを毎回記載する	60
3	グループワーク① ・グループワークの目的、GWの流れ(全教員) (グループ編成・自己紹介 他)	グループワーク	・復習: 該当部分の復習をする	30
4	講義③: 本の読み方・レポートの書き方 (木村) ・文献について ・適切な引用方法について : 講義概要記載の目的と方法(目野)	講義	・予習・復習: 該当部分について行う ・講義概要をまとめ提出準備をする	60
5	講義④: 情報倫理の基本「情報倫理」(情報課職員) ゼミ別: フィードバック (全教員) ・講義概要の記載 ・ポートフォリオの整理・活用	講義 講義(ゼミ別)	・復習: 該当部分の復習をする ・講義概要を修正する	30
6	講義⑤: 情報収集の基礎 (図書課職員) ・蔵書・文献検索の基本(CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他利用) ・著作権の基本知識 ・文献カードの記載方法(図書・雑誌 他)	講義	・復習: 該当部分の復習をする ・ポートフォリオの提出準備をする	60
7	<ミニレポート(1)> 講義⑥ ・ミニレポート 概要について(目野) 講義⑦ ・読解: 文献の読み方、「問いをたてる」について 説明(目野) ・文献カードの記載方法(図書・雑誌 他)、 要旨の書き方について(中原) 個人ワーク① ・課題文を読む	講義 個人ワーク	・復習: 該当部分の復習をする ・課題文を読み込む	60

8	<p>&lt;ミニレポート(2)&gt; ・「問いをたてる」説明(全教員) ・「問いをたてよう」</p> <p>&lt;ミニレポート(3-1)&gt; 個人ワーク② ・ミニレポート作成準備 文献を探す/文献検索 (CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他 利用) ・文献を読む</p>	<p>講義(ゼミ別) 個人ワーク</p>	<p>・復習:「問い立て」について復習をする ・課題に関連した文献を探し読む</p>	60
9	<p>&lt;ミニレポート(3-2)&gt; ・「ミニレポート設計図をたてる」説明(全教員) ・個人ワーク③ ・ミニレポート作成準備、「設計図をたてよう」 文献を探す/文献検索 (CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他利用) ・文献を読む</p>	<p>講義(ゼミ別) 個人ワーク</p>	<p>・復習:該当部分の復習をする ・設計図を完成させる ・課題に関連した文献を探し読む</p>	60
10	<p>&lt;ミニレポート(4)&gt; 個人ワーク④ ミニレポートを作成する (1000字程度)</p>	<p>個人ワーク</p>	<p>・ミニレポートの提出準備をする</p>	60
11	<p>&lt;課題レポート(1)&gt; 講義⑧ ・課題レポート概要(目野) ・ミニレポートのフィードバック(木村) ・ゼミ別のミニレポートフィードバック(全教員) 問いを立てる→振り返り レポートの書き方・文献カード・引用法振り返り グループワーク②:課題発見 個人ワーク⑤ ・課題発見 ・文献を探す/文献検索(CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他 利用)</p>	<p>講義 講義(ゼミ別) グループワーク 個人ワーク</p>	<p>・復習:レポートの書き方について復習する ・復習:文献検索の仕方について復習する ・ミニレポートの修正をする</p>	60
12	<p>&lt;課題レポート(2)&gt; 個人ワーク⑥ ・文献を探す/文献検索(CiNii Research、 Google Scholar、J-STAGE 他 利用) ・文献を読む ・問いを立て、プロットを組む</p>	<p>個人ワーク</p>	<p>・図書館を利用し文献検索を行い文献を集める ・文献を読み課題レポートの作成準備をする</p>	60
13	<p>&lt;課題レポート(3)&gt; 個人ワーク⑦</p>	<p>個人ワーク</p>	<p>・課題レポートを作成する</p>	60

	・レポート作成(2000 字程度)			
14	<課題レポート(4)> ゼミ別:レポートフィードバック (全 教員) 個人ワーク⑧ ・レポート作成・仕上げ ・要旨の作成 (200~400 字程 度)	個人ワーク	・課題レポートを修正、要旨を作成し、提出準備をする ・要旨をもとに発表の練習をする	60
15	<課題レポート(5)> グループワーク③ ・グループ内でレポート内容に ついて発表する ・自己のレポートを振り返る 個人ワーク⑨ ・ポートフォリオの整理をする	グループワ ーク 個人ワーク	・仲間の発表を聞き、得た気づきから学びを深める ・ポートフォリオを整理し提出準備をする	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	・分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・基本的なパソコン操作を修得しましょう。			
テキスト	・必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 ・ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。			
参考図書・教材 / データベース・雑誌等の紹介	・溝上慎一著『大学生の学び・入門』有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』くろしお出版 ・新谷恭明・折田悦郎『大学とはなにか』海鳥社			

<p>授業以外の 学習方法・ 受講生への メッセージ</p>	<p>本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探求していく姿勢が大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。</li> <li>・図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。</li> <li>・仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。</li> </ul>
<p>達成度評価 に関するコメ ント/課題に 対するフィー ドバックの方 法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の指標については、評価シートを配布し授業の中で詳しく説明します。</li> <li>・達成度評価は、レポート50%、レポート外提出物(ミニレポートとポートフォリオ)30%と、その他(グループワーク)20%による総合評価とし、70点以上を標準的レベル、90点以上を理想的レベルとします。</li> <li>・レポートとミニレポートは、構成・内容・テーマにそった一貫性と探求する姿勢を、ポートフォリオは整理工夫と提出状況を、グループワークはメンバーとの協力や意見交換など積極的姿勢を指標に評価します。</li> <li>・ミニレポート、レポート、ポートフォリオをはじめとした提出課題には、その都度コメントをして返却します。</li> </ul>

